

# 下紺屋町の歴史⑥ 絵馬の移管



平成27年11月8日  
『八幡宮絵馬』お別れの会

## 八幡宮絵馬を上田市に移管

紺屋町の鎮守の杜として・憩いの場として親しまれ、また各種伝統行事の会場として活用されている八幡宮には昭和60年9月6日に上田市の有形文化財（絵画）に指定されている『黒鷹・白鷹の対の大絵馬』がありました。

町民皆が八幡宮の維持管理に心を注いできたところではありますが、その文化財の経年劣化また火災等の不慮の災害等に心を痛めてもおりました。

旧山本鼎記念館が閉館となり、上田市博物館第二展示場として改装となる期をとらえ、平成27年6月30日の「上紺屋町自治会」「下紺屋町自治会」「八幡宮総代・宮係」「上田市教育委員会」の協議により上田市博物館に収蔵いただき、八幡宮にはレプリカを掲示することを決定いただきました。

『八幡宮絵馬』の上田市への移管にあたり、平成27年11月8日に「八幡宮絵馬お別れの会」を開催し、『八幡宮』は上田城築城に当たり鬼門の護りとして海野の郷（東御市）より移された事、上田歴代城主（真田氏、仙石氏、松平氏）より崇敬篤く社殿造営・絵馬の奉納等がなされていた事などを再認識しました。



## 八幡宮境内案内看板（平成27年11月設置）

絵馬の上田市への移管に伴い上田市教育委員会により案内看板が設置されました。



## 上田市立博物館別館にて展示（平成28年1月4日開館）

新装なった上田市立博物館別館（旧山本鼎記念館）に収蔵、展示されています。



## 八幡宮にレプリカ掲示（平成28年8月14日）

上田市立博物館より提供いただいたデータをもとにレプリカを作成掲示しています。

